

広報いずみざき

【毎月15日発行】

村民の動き

| | | |
|----|-------|-------|
| 本 | 1,069 | 1,067 |
| 前月 | 2,814 | 2,803 |
| 世帯 | 2,928 | 2,933 |
| 男女 | 5,742 | 5,736 |
| 人口 | | |

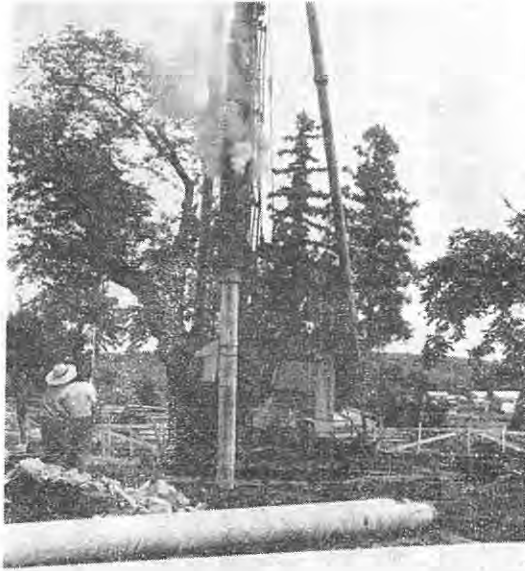
編集者 柴田一雄
 総務課 柴田一雄
 発行所 泉崎村役場
 印刷所 ワタベ印刷所

道路の維持管理について

我が村には国道をはじめとし県道、村道、農道、私道と数多くありますが、村道は六万メートルあります。面積も二四万平方メートルあり農道を加えると五〇万平方

第一小学校二期工事着工

泉崎第一小学校舎建築第二期工事は去る六月二十九日指名競争入札の結果、矢吹町高田工業株式会社高田兼芳氏が総工費、二千四百十九万三千円で請負うことになりました。工事の期間は来年一月三十一日までですが既に最新型の機



写真は……大型機械による杭打作業と耐力度を検査する係員

械によつて基礎杭の打込作業が行なわれております。二期工事の建築規模は鉄筋造り二階建て新校舎に接続し普通教室七、衛生室一、その他便所廊下等延べ八三一平方メートル(約二五二坪)となります。

メートル以上になります。しかし最近心ない人達によりけずられたり、よごされたりしており、甚だしいところでは四本もあるはずの道路が二米もけずられているところがあります。此れ等は村民の批判を買えばかりでなく、大へん皆さんに迷惑をかけることになります。また道路法にも違反します。また道路に草やゴミを捨てないように致しましょう。文化の発展は道路からと云われますが、道路無くして文化の発展はあり得ません。関東及び関西地方の発展は気候ばかりでありません。碁盤の目のように張られた道路それも舗装され新鮮な野菜、魚等その他家庭日需品あらゆるものが単時間に山漁村から都会に都会から農村と運ばれ、どんな物でも金になり、どんな小さな出来事も耳に入り目で確め、一人一人が学を習う、これが発展の原則であります。私達も道路をより広く美しく使うことが村発展の基礎となりますのでお互に注意しましょう。村当局としましても道路整備に万全を期したい考えでありますので皆様方の絶大なる御協力をお願いします。

台風季と水防計画

七月から九月にかけては大型台風の発生が予想され、それに伴つて堰堤の破壊流出等の事態も起りますので、それらに対処するため万全の方策をたてなければなりません。

県では毎年県下の消防団による水防訓練を実施し非常に備えておりますが、村でも別記水防事務分担をきめ災害発生に備えております。

◎水防事務分担

- 総括 小針 村長
- 部長 田崎 助役
- 庶務係 菊地 収入役
- 庶務係主任 穂積 良頭
- 穂積 悦子 根本 信如
- 藤原 ヨシ子 小林 ヌウ子
- 情報連絡係 箭内 教育長
- 主任 北沢 喜一
- 係 小室 憲整
- 中畑 忠治 室 隆一
- 久保木 陽子
- 災害情報係 柴田 総務課長
- 主任 野崎 伸夫
- 係 佐藤 宏
- 資材運搬係 小林 税務課長
- 調達輸送係 岡部 清
- 主任 北住 好雄
- 五十嵐 正 藤田 喜男
- 石川 栄 須藤 昇
- 水防作業指導係 笠井 産業課長
- 主任 佐川 一三
- 係 荒井 利定
- 海上 仁 鈴木 義勝
- 救護係 箭内 住民課長
- 主任 小林 治男
- 係 鈴木 俊貞
- 山口 布子 深沢 トリ
- 鈴木 千枝子 鈴木 玲子

東北縦貫自動車道路建設促進委員会事務局

- 局長 笠井 由春
- 工事担当 佐川 一三
- 用地担当 荒井 利定
- 田崎 積良 頭
- 野崎 文能
- 役場人事異動のため前記のように変りましたのでお知らせします。

国民年金の手続き

今月が最後のチャンスです。満三六才以上の未加入・未納者。ことしは、国民年金制度にとつてきわめて重大な年にあたつています。昭和六年四月一日以前に生れた方で、まだ国民年金に加入していない方、加入していてもぜんぜんかけ金を納めていない方は、いままずぐに手続きをとり、四十年四月分までさかのぼつてかけ金を納めましょう。将来、老令年金を受けられなくなるかそれはあなたがこの手続きをとるかどうにかにかつています。しかも今月が最後のチャンスです。絶対に忘れずに。

国民健康保険税について

国民健康保険は七割給付により医療費の莫大な支出が予想され、国より医療費の四割を補助金として交付されても、とても足りませんので四十二年度は国保税を四十二年より五八%引上げ実施したことは前にお知らせ致しましたが、ご承知のところでありませんが、何分大巾なため幾重にも皆さんのご理解による協力を得たいと思ひますので重ねてお知らせいたします。

社会教育関係

各種学級開設

- 昭和四十二年度社会教育関係の各種学級が次の計画によつて開かれますので多数参加されるようおすすめます。
- ◎青年学級 定員四〇名
 1. 満20才未満の青年男女
 2. 学習時間数 六〇時間
 3. 場所 役場又は集会場 中学校
 - ◎学習課題
 - ・村の農業の現状と将来
 - ・教育行政の近況
 - ・これからの農業と青年の役割
 - ・農協の現状と課題
 - ・村づくりと青年の役割
 - ・管外研修(青年の家)
 - ・青年と生活の設計
 - ・村の先輩の実践活動を聞く
 - ・青年と体育レク
 - ・郷土の歴史

す。ところで例年は一期分が仮算定で二期分より増税になつた税額が分納されていたわけですが大巾に増税のため本年度は当初の一期分より調整して四期分で割つた税額を分納頂いております。物価の上昇に加え出費の多い昨今税負担の増加は誠に恐縮に存じます。しかし医療補償制度としての趣旨を了解下され税の納入に一般のご協力をお願いいたします。なお不明な点については税務係におたずね下さい。(国保係)

庁内人事異動

1. 今度乗用自動車の購入によつて次のような異動がありました。五十嵐 正、産業課勤務が総務課勤務に替り乗用車を、新たにトラック運転係として井上恒勝君が七月一日より勤務することになりました。
2. 退職者
 - ・中野目広三さん、二十一年間に亘り本村農業委員会の業務に従事し其の勤勉な執務は職員の模範でありました。今度後進に道を開き六月三十日付にて退職されました。溝井勝利さん、十年間に亘り民生関係の事務にたづさわり村民の福祉業務につき村民のよき相談相手でありました。今度後進に道を

◎婦人学級(関平地区)

- (具実験学級二年目)
- ・研究主題 生産を高めるための知識技能の学習
 - ・定員 四〇名
 - ・時間 六五時間
 - ・場所 集会場
 - ◎学習課題
 - ・婦人教育の現状と問題点
 - ・正しい農業の使用
 - ・ソ菜栽培技術
 - ・生産と消費生活
 - ・土壌の病害とソ菜
 - ・労働と健康管理
 - ・管外研修
 1. 郡山農業試験場
 2. 須賀川園芸試験場
 - ◎家庭教育学級(川崎地区)
 - ・定員 五〇名
 - ・時間数 六五時間
 - ・場所 第一小
 - ◎学習課題

ゆづり六月三十日付にて退職されました。お二人共長い間ご苦労様でした。

二小跡土地払下

六月の臨時村議会にて決定された旧第二小学校跡敷地払下については、関平農協へ売却しました。関平農協にて今後農協経営に是非まともな面積の敷地が欲しいと物色中でありましたが、たまたま第二小学校の新築移転に伴つて空地となつたため今回の売買となつた次第です。今後は関平農協に於てその土地の高度の利用を願うものであります。

乗用自動車を購入

村行政の円滑な推進とスピード化のため今度乗用自動車を購入しましたのでお知らせします。

明るい家庭によい子が育つ

- 毎月の第三日曜日は家庭の日
毎月第三日曜日は家庭の日です。
家庭の日には
- ・家族みんなで話し合いをしよう
 - ・家族みんなで楽しみ合ひましよう
 - ・家族みんなで運動しましよう
 - ・家族みんなで力を出し合ひましよう

- ・現代つ子の心理
- ・子どもの成長と素質の発見
- ・その伸し方
- ・家庭教育と婦人の役割
- ・家族の健康
- ・家庭における情操教育
- ・青少年の非行と環境
- ・映画教室(子どものほめ方と叱り方)

以上が各学級の主な内容ですが各学級ともそれぞれの特質がありますので充分学習効果をあげ得ると確信いたします。

今月の納税

| | |
|-------|-------|
| 固定資産税 | 第2期 |
| 保険税 | 第2期 |
| 国民年金 | 第1期 |
| 納期限 | 7月31日 |

農家のあととりを激励

第四回西白河地方農業後継者激励大会が去る六月十四日午前十時より矢吹町県経営伝習農場に於て開催され農業後継者約百人が参加した。県西白河務所長及び白河公共職業安定所長等の祝辞のあと、農場長、入江林先生の講演を熱心にメモしながら「今後の農業はたのしく経営しなくては」と若い希望をふくらませた言葉がかわされていた。十一時半から二班に分れて場内を見学し昼食、体験発表、白石隆(大信村)、鈴木和子(妻郷)交歓会、記念品贈呈、後継者代表謝辞閉会となつた。当村よりの参加者は、左記の通りであります。

- 関和久字明地 木野内重信君
- 字上町 鈴木 折夫君
- 北平山字新田 小針 重一君
- 小林 正文君
- 磯貝 修君
- 泉崎字楯内 林 清貴君
- 字鶴番小屋 鈴木 義男君
- 字下宿 星 敬三君
- 字外ノ入 穂積 一身君
- 字根岸 野崎 正志君
- 小針 育子さん
- 広橋トシ子さん
- 関根 光江さん

はじめて聞く

『農業者年金』のあらまし

県農業会議では、市町村農業委員会を通し農家の皆さんの老後の生活保障などをはかるため、サラリーマンと同じように恩給が貰える農民年金(農業者年金制度)を新たに設けるため農家の皆さんの力を結集し、その意志を政府や国会に反映するため、全国的に運動を行なうことになりました。

農業者年金制度は国民年金とは別に農業者のための老令年金制度とまた農家の後つぎを確保するため、高令者は農業経営の主導権を早い機会に若いむすこにゆずることが大切とのことで、このためには老後不安がないよう「経営を移譲する年金」をつくる必要があるとされて

さらに農地を手放して都市へ転出したくとも転出後の生活不安を考えると、なかなか農地を手放せない農業者は少なくないので、この不安をなくするため転職・引退年金をつくる必要があるとされて

おります。

それで本人が負担する掛金とか国の負担金とかその他細かい具体的なことは今後の問題となる訳で今の処は運動の段階で署名運動も実施することになつております。以上がそのあらましです。

優良農家視察

日割について

東村の鈴木敏暉氏は数年来「水稻栽培」や家族協定農家に功績を挙げていることは周知のとおりであります。最近各地からの視察者が連日訪れ非常に迷惑を被つておりますので、視察のときは次の日程によつて視察して頂きたい旨の連絡がありました。尚、その日程に参観せられますと、案内及び説明にあたることになつております。

- ▽視察案内日
- 7月：3日、17日
- 8月：5日、10日、20日
- 9月：5日、10日
- (午後1時〜午後6時迄)

家畜自衛防疫促進事業 実施について

昭和四十二年度農林省に於ては全国二〇ヶ所を選定し自衛防疫推進協議会を設立させ豚、コレラ、鶏ニウカッスル病予防を協議会に委任実施させることになりました。本県では西白河郡が選定され十月一日より発足実施の予定であり去る七月六日設立準備委員会を開催いたしました。

この協議会の構成メンバーは市町村長、農協長、畜産農協長、種牡豚育成管理組合代表及獣医師会員であり年間生産頭数が五万頭以上の郡が該当する訳でありますので、皆様の一層の御協力をお願いいたします。

慶弔欄

◇出生おめでとう

- | (氏名) | (住所) | (父) |
|-------|-------|-----|
| 藤原 章宏 | 泉崎字下宿 | 誠市 |
| 高橋みどり | 関和久豊田 | 清一 |
| 海上 雅博 | 泉崎字室井 | 仁 |
| 中野目麗子 | 外ノ入 | 康雄 |
| 中野目南子 | " | 身次 |
| 長谷川徳由 | 十軒前 | 松雄 |

◇死亡 謹んでお悔み申し上げます

- | (氏名) | (住所) |
|--------|--------|
| 小針 キチ | 大田川字居平 |
| 田崎 長吉 | 関和久字富岡 |
| 水野谷 ハル | 泉崎字十軒前 |
| 庄野 治平 | 北平山字新田 |
| 中野目 章 | 泉崎鶴番小屋 |
| 中畑 実 | " 高尾 |

長期予報

七月〜九月の天候

今夏は、ここ一、二年よりは暑い日が多く、雨量も少なめの傾向がありますので水不足となる所もありましようが、また雷雨活動が活発なので局地的に多めとなる所があるでしょう。

梅雨は七月中旬には明けますが下旬から八月にかけて一時天気にくずれることがあり、低温となるおそれがあります。日本に接近または上陸する台風が各月に一個くらいあるでしょう。

気候

七月：半年並みか多少高めでしょう。

八月：前半には一時低温の時期もありますが、全般に暑い日が多い見込みです。しかし下旬には暑さのしびれやすくなるでしょう。月平均では大体半年並みですが、幾分高くなるかも知れません。

九月：月始め一時残暑気味の日もあり前半はやや高い見込みですが、後半は低めとなり月平均では大体半年並みくらいでしょう。

降水量

七月：前半は比較的梅雨前線の活動が活発で、雨が降りやすく、特に会津地方では集中豪雨のおそれがあります。後半は夏らしい天気になりやすくなりますが、下旬始めころに一時梅雨のような天気が現われる見込みです。月の総量としては中通りと浜通りは半年並みか少なめですが、会津では一時的な大雨で半年並みかやや多めとなる所があるかも知れません。

八月：前半に夏らしい天候の見込みですが、上、中旬は前線が日本付近に停滞して一時天気にくずれる時期があります。また下旬はオホーツク海方面に高気圧が現われて天気はくずれやすくなるでしょう。月の総量としては会津は半年並み、中通り浜通りは少なめの見込みです。

夏の防犯手帳

みんなで防犯

楽しい夏を

うつとうしい梅雨もようやくあけ、本格的な夏の訪れ、季節的な開放感も手つたつて気はゆるみがち、こんな心のすき間につけこんで性犯罪や事故が目立つて多くなるときでもあります。

暑さに戸締まりが忘れがちとなり、ドロボーがふえてくる。

夏祭りや海水浴場、キャンプ場などでは暴力がのさばりオオカミどもが女性をねらつて出没する。子どもたちにとつては、楽しい夏休み、しかし、非行への転落、水難が待ちかまえている。

こんなことになつたら、この夏はまつ暗です。警察では県民のみなさんに楽しい夏をすごしていただこうと、防犯協会と協力して七月中旬から八月末まで「夏の防犯運動」を行います。みなさんの御協力をお願いします。

△暑さに強いドロボーも 時間時間には弱い▽

夜になつても、むしろする暑さついで窓や戸を明けたまま寝込んでしましますが、ドロボーはこのチャンスをおねらつていられるのです。

昨年県内では一万八千八百余件の盗難事件があり、その被害額は二億七千二百万円にも及んでいます。

なかでも荒かせぎをしているのが空巣や忍び込みなどで夏や暑さが大好きです。夏バテどころか、ますます活動を初めます。

このようにスタミナのあるドロボーですが弱点もあります。

「土用の丑」

土用はいわゆる雑節のうちの一つで一年に四回あります。立春、立夏、立秋、立冬の前の十八日または十九日に当たります。しかし一般的には立秋の前の土用が知られています。

土用波、土用干し土用休みなど夏の土用がもつばらはばをきかせています。わけても土用の丑の日にはうなぎをたべると夏やさを防

り、こわしたりする時間がかかることを非常にこわがります。それだけで発見されたり、つかまることも多くなるからです。ですからわたくしたちは、このドロボーの弱点をついた戸締りを完全にすることが大切です。

どんなに暑くてもおやすみ前やルスにするとときの戸締りは忘れずにしつかりたいしましょう。目下警察では「カギ運動」を推進中でありま。

安心してお出かけや、おやすみになれる、完全なるカギを。楽しい夏を悔なく過ごそう。

ねらわれる女性の夏姿

ご婦人の夏姿ほど、人目をひくものはありません。

短いスカート、大胆なサマースタイルが、いつそう男性の心を刺激ススキを、無用心をむき出しにします。昨年県内で発生した強かんや、わいせつなどの性犯罪は、二四五件で夏に一番多く発生しております。性犯罪からあなたの身を守るために、夏の女性心得をお読みください。

・暗い夜道の一人歩きはなるべくさげ、まわり道でも明るい道を
・男性を挑発するような服装や態度は禁物です
・そんなにしなくても、あなたは美人なのです。
・アベツクや友だちと、夜おそくまで歩いては危険です

・「車で送りましたよ」との甘いことばのさそいにはつてはいけません、よく送りオオカミの使用手だからです
・ご婦人の「ひとりルス居」のときは行商人や押売りなどには充分警戒しましょう

そこをねらう痴漢もいるのです。万一おそれられたときは、あわてず大声を出して救いを求めましょう。ぐと云はれ、うなぎにとつては最悪の日でしょう。どうして土用の丑の日とうなぎが結びつけられたかはつきりしませんが、一説には平賀源内が普及したと云われています。

土用の前後は一年中でいちばん暑さがはげしく体力の消耗もはなはだしい時期です。こんなときに脂肪に富んだうなぎを食べることは合理的で、むかしの人の生活の知恵ともいえます。

よう

過労運転を

なくそう

過労運転の防止、それが夏の交通事故防止の出発点といえましょう。

◇充分なすい眼を

仕事のつかれが朝まで持ち越すようではすい眠不足の証拠です。こんな状態では安全運転は保障できません、充分なすい眼をとり、そう快な気持ちで運転して下さい。

◇疲れたら

前の車が、なんとなくもたついているような気がしたり手足の感覚がはつきりしない、こんなときは車を安全な場所にとめて、ひと休みすることです。

◇時間の余裕を

「何時までにつかなければ」と時計とニラメツコしながらの運転は疲れを増し事故の原因となります。時間は充分な余裕をもつて運転して下さい。

◇深酒はやめましょう

よつばらい運転の危険は誰でも知つていますが運転時以外の酒のみには案外無関心です。

夜おそくまでの飲酒は疲れの原因となつて、翌日の運転に影響します。酒のみには節度をもつて安全を心がけましょう。

泉崎警察官駐在所 関平警察官駐在所

七月のこと

七月の和名を「ふづき」と云います。「文月」が縮まつて「ふづき」と呼ばれたとしておりますがなぜ七月が「文」に關係があるのでしょうか。

興義抄という日本の古い書物によると「織女」にかすとて書かひらく故に「文月」といふとあります。また中国では七月七日は曝書(虫ぼし)をする行事が行なわれたことが日本に伝わつて、この月を「文月」と呼んだとも云われています。いづれにしても、けん牛織女のロマンチックな話題をひろつたり、書物に關係のありそうなる七月の呼び名は農耕に因縁の多いほかの月の和名とすこし趣が違つています。このほか、七夜月、女郎花月、七夕月とも呼ばれていました。